

草津白根山における地磁気全磁力変化*

Variation of Geomagnetic Total Intensity at Kusatsu-Shirane Volcano

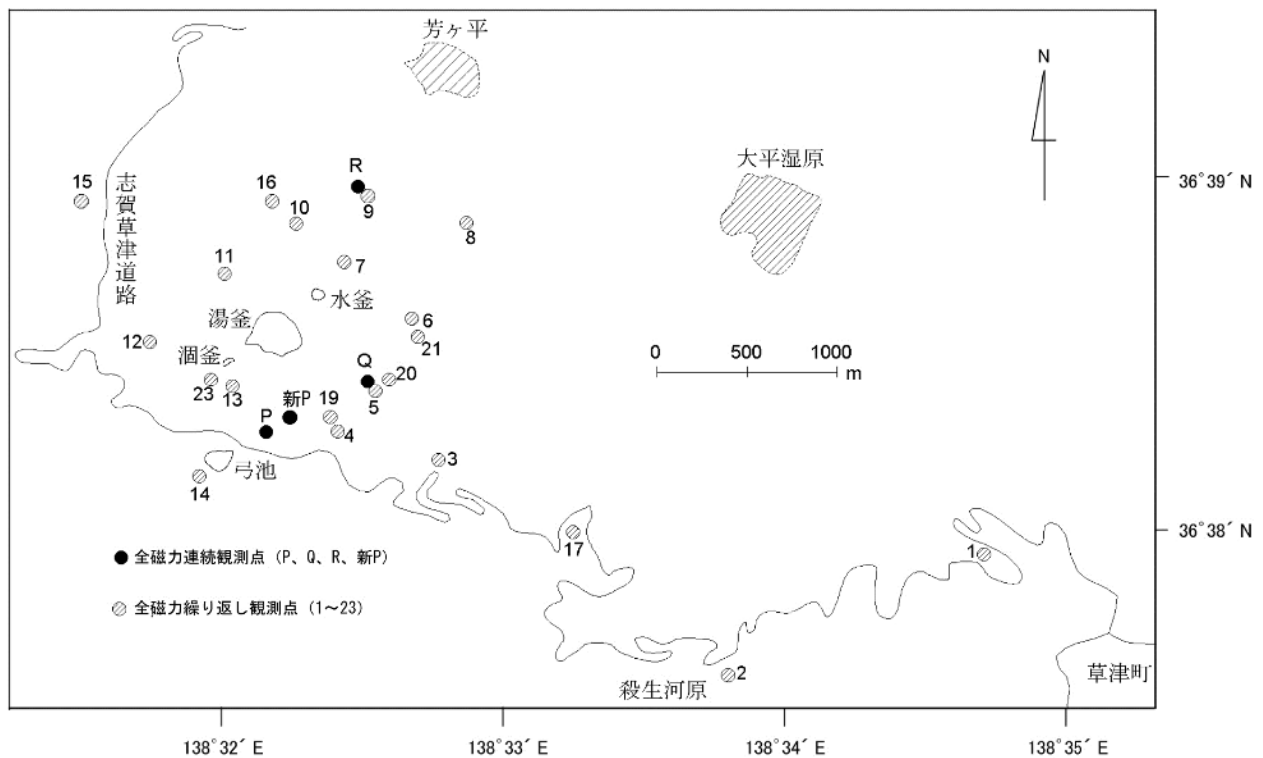
気象庁地磁気観測所

Kakioka Magnetic Observatory, JMA

草津白根山における 2014 年 5 月までの地磁気全磁力変化について報告する。

第 1 図に草津白根山における全磁力連続観測点 P、Q、R および新 P 点と全磁力繰り返し観測点（観測点番号 1 から 23）の配置図を示す。

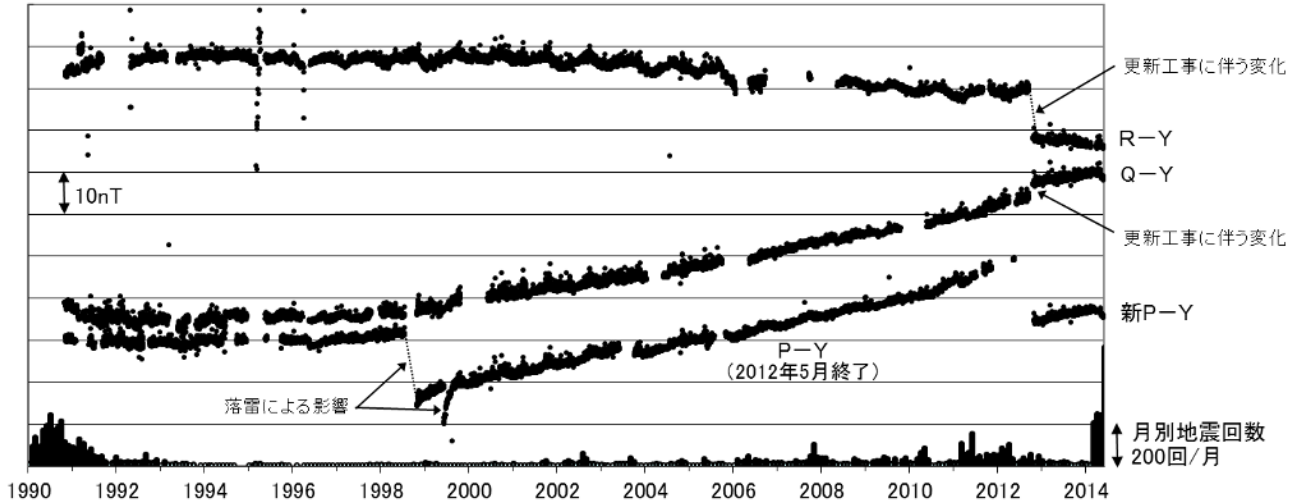
第 2 図および第 3 図は、それぞれ 1990 年 1 月から 2014 年 5 月および 2013 年 1 月から 2014 年 5 月の期間における、八ヶ岳地球電磁気観測所（東京大学地震研究所、草津白根山から南方約 62 km）で観測された全磁力値を基準とした連続観測点の全磁力変化を示す。1996 年以降、湯釜近傍地下の岩石の再帯磁（冷却）によると考えられる全磁力変化（湯釜の南側の観測点で増加、北側で減少）が継続していたが、2014 年 5 月頃から熱消磁に転じた。



第 1 図 全磁力連続観測点（P、Q、R および新 P）および繰り返し観測点（番号 1-23）の配置図。

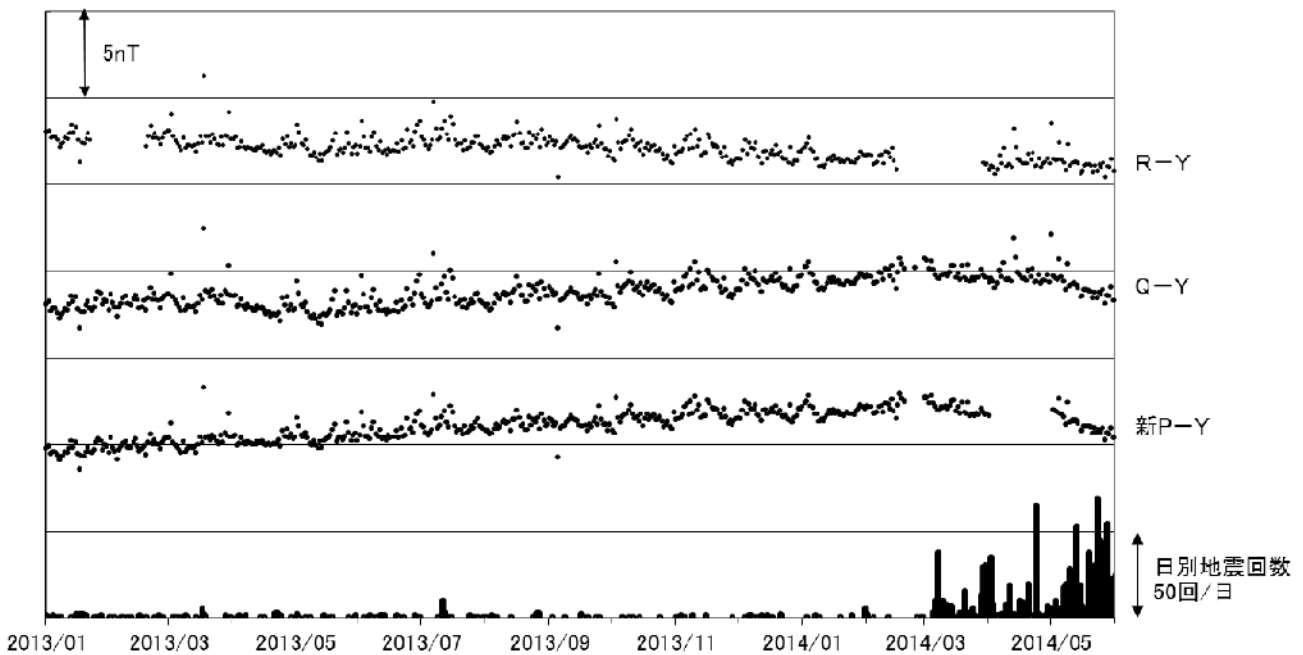
Fig.1 Location map of continuous (P, Q, R and Shin-P) and repeated (1-23) observation stations for geomagnetic total intensity.

* 2014 年 7 月 15 日受付



第 2 図 全磁力連続観測による全磁力値の変化及び月別地震回数（1990 年 1 月～2014 年 5 月）。連続観測点 P、Q、R および新 P における八ヶ岳地球電磁気観測所（東京大学地震研究所）(Y) との全磁力の日平均値差。最下段に草津白根山で観測された月別地震回数を示す。

Fig.2 Temporal variation of the geomagnetic total intensity at the continuous observation stations P, Q, R and Shin-P from January 1990 to May 2014, with reference to YAT(Y). The bar chart at the bottom of the panel denotes the monthly number of the volcanic earthquakes at Kusatsu-Shirane volcano observed by JMA.



第 3 図 全磁力連続観測による全磁力値の変化及び日別地震回数（2013 年 1 月～2014 年 5 月）。連続観測点新 P、Q および R における八ヶ岳地球電磁気観測所（東京大学地震研究所）(Y) との全磁力の日平均値差。最下段に草津白根山で観測された日別地震回数を示す。

Fig.3 Temporal variation of the geomagnetic total intensity at the continuous observation stations Shin-P, Q and R from January 2013 to May 2014, with reference to YAT(Y). The bar chart at the bottom of the panel denotes the daily number of the volcanic earthquakes at Kusatsu-Shirane volcano observed by JMA.